

事業名	スーツケースの不法投棄対策
ここがポイント	・ 不法投棄禁止について、チラシや大型ビジョン等により多言語で周知 ・ 販売店、宿泊事業者、リユース事業者など民間企業と連携 ・ パトロールや地域からの情報収集、警察や民間団体への協力要請等 ・ 条例による対策を検討

事業の内容

1. 事業実施に至った経緯、背景など

- ・ 区内のごみ集積所、路上等におけるスーツケースの不法投棄は、内容物が確認できないことから、不審物として110番通報されることもあり、地域の不安要素となっている。
- ・ スーツケースの不法投棄が最も多い地域は「豊島区池袋」エリア。この地域は民泊が最も多いことから、民泊等宿泊施設を利用する外国人旅行者がスーツケースを買い替えた際に、不要となったスーツケースを放置することが主な要因として想定される。宿泊施設でも、チェックアウト後にスーツケースが放置されることが多く、保管や処分にかかる負担（費用・スペース等）が課題となっている。
- ・ 旅行者が不要となったスーツケース（粗大ごみ）を回収する行政のルートがない。

2. 目的

- ・ 旅行者に対し、不法投棄が違法であることを周知するとともに、再利用ルートを確保し、活用してもらうことにより、不法投棄の抑止とともに、地域の環境美化及び安全・安心な生活環境の確保を図る。

3. 内容

- ・ スーツケースの不法投棄禁止にかかる多言語版チラシによる周知（リユース方法についても掲載）
（スーツケース販売店、宿泊施設、公共交通施設、町会等の地域団体、広報掲示板等の活用による周知）
- ・ 池袋駅周辺の大型ビジョンで不法投棄禁止の映像を放映
（東口：池袋 PARCO ビジョン、としま区民センター、西口：池袋 TS-VISION、池袋西口公園グローバルリング）
- ・ スーツケース再利用事業者との連携（協定締結）
- ・ 青色防犯灯付きパトロール車により、多言語アナウンスで不法投棄を呼び掛けながら、区内を巡回
- ・ 町会など、地域からの通報による情報収集
- ・ 条例による対策を検討

4. スケジュール

令和8年6月 … 区施設大型ビジョンにおける広報映像放映開始（としま区民センター、グローバルリング）

7月 … スーツケース再利用事業者との協定締結（7/1）

池袋駅東西口大型ビジョン放映（7/1～：池袋 PARCO ビジョン、池袋 TS-VISION）

多言語版チラシによる周知（日・英・中・韓）

各町会へ協力要請